

DICE PROJECT

事業紹介





SERVICE

PROJECT

VISION

STAFF

CONTACT

RECRUIT



VISION

私たちは、
世の中をもっと暮らしやすくできると
信じています。

世の中にはいろんな地域、いろんなまちの人がいて、
そこには異なる考え方、異なる人生があります。

今でこそ、こういった多様性は重要視されるようになったけれど、
私たちダイスプロジェクトはこの価値観こそが
まちづくりには大切だと信じてきました。

それは、様々な暮らし方があることを理解しなければ、
本当の暮らしやすさを創造するアイデアは生まれないと思うから。

大きくても小さくても関係ない。

まちというフィールドに課題があれば、それを鮮やかに解決したい。

そのひとつひとつのプロジェクトが、

今までもこれからも、私たちにできる「まちをデザインすること」だと思うのです。

まちをデザインする クリエイティブチーム

私たちは、

事業企画や商品企画、企業の戦略サポート等企画を考えること、
まちや建築、空間等アイデアをカタチにすること、
販売促進、広告、プロモーション等情報発信すること、

様々なプロジェクトを専門的技術と俯瞰的視点で実施・展開し、
創造していくクリエイティブチームです。

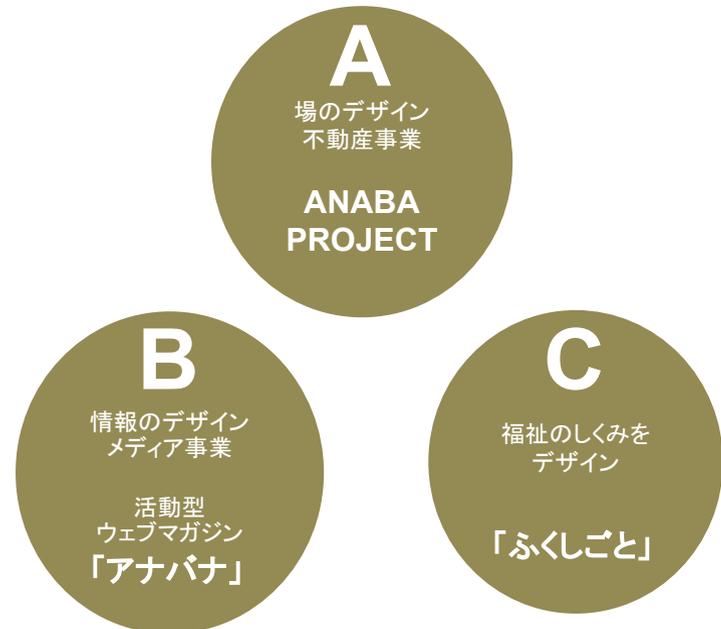
ダイスプロジェクトの事業

私たちは、事業企画や商品企画、企業の戦略サポート等、企画を考えること
まちや建築、空間などで、アイデアをカタチにすること
販売促進、広告、プロモーション等、情報発信すること
様々なプロジェクトを専門的技術と全体的視点で実施・展開し、想像を創造していく
クリエイティブチームです。

クリエイティブ 領域



サテライト事業





事業開発デザイン 強いブランドをつくる

プロジェクトの企画運営はもちろん、経営戦略や事業戦略、ブランディングなど、事業全体をトータルにお手伝いします。

ダイスプロジェクト
活動紹介

旧大名小学校跡地活用検討

旧大名小学校跡地(現・大名ガーデンシティ)の土地利用可能性に関する調査業務。新しい都市機能の実現に向けエリアや施設の特性などを整理し土地利用計画や導入施設の検討等を行いました。

■検討対象の概要位整理

- ①大名小学校および周辺施設の諸元
- ②大名小学校の特性
- ③既往調査の概要
- ④エリアの特性
- ⑤都市機能の分布状況

■事例調査

- ①歴史的建物の活用におけるポジショニング
- ②歴史的建造物の保存活用事例

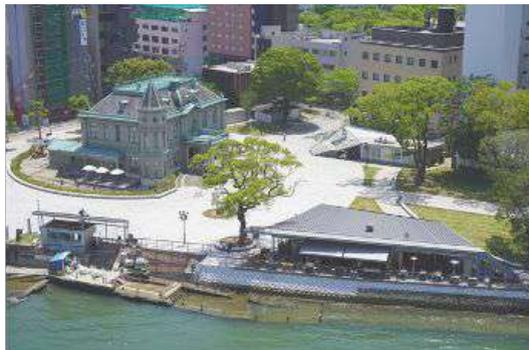
■ケーススタディ

- ①計画地の特性を踏まえた土地利用内容の検討
- ②民間事業者へのヒアリング
- ③ケーススタディの実施
- ④今後の課題



天神中央公園 Park-PFI 公募提案企画

福岡県による、天神中央公園 西中洲エリアの再整備を目指すPark-PFIにおいて、事業コンセプトや導入機能の企画および提案書作成の支援を行ないました。ペーカリー、レストラン、公園や水上交通の利用者が休養できる施設が整備されました。



西鉄天神イノベーション プロジェクト 「天神福食堂」

2025年開業の「ONE FUKUOKA BLDG.」内に西日本鉄道株式会社が新規事業としてオープンした街の食堂「天神福食堂」の事業企画及び開業準備支援。事業計画の立案から、内装設計、ブランディング、オペレーション計画に至るまで、全てのプロセスの伴走支援を行いました。





地域デザイン 新しい流れをつくる

街という視点から、人の流れをデザインし、街に新しい流れを作り出します。

ダイスプロジェクト
活動紹介

武雄市まちなか公共空間 デザイン調査業務

来街者の増加が予想される新幹線開通を契機に、まちなかの回遊性の向上、滞在時間の増加を目指す事業。駅周辺の公共空間を活用し市民の活動を促すため、社会実験によるニーズ調査や活動主体の発掘、規制緩和への提言等も行いました。



佐賀県公共空間活用促進 研修企画運営業務

佐賀県内の公共空間の活用促進を目的としたプログラム「公共空間×オトナ実験室」を開催。プログラムの企画・広報・実施を行い、講座の参加者が実際に公共空間を活用してイベントを実施するに至るまでの支援を行ないました。



福岡市商店街観光

大濠公園に訪問している観光客を周辺の商店街へ誘客することを目的とした福岡市の観光連携事業。2023年度は、商店街や地域関係者との競技を重ね、誘客コンテンツを造成、キックオフイベントとしての実証実験を行いました。2024年度は、周辺商店街の事業者を集めた勉強会の開催、エリアマップやサインの制作、縦型ショート動画にて商店街紹介の発信を行ないました。また、回遊促進を目的としたデジタルスタンプラリーやトウクトウクの試験運行を実施しました。





建築空間デザイン 心地よい場をつくる

クライアントのニーズに応えることはもちろん
持続可能な空間づくりを行います。

ダイスプロジェクト
活動紹介

みらい長崎ココウォーク フードコートリニューアル

商業施設「みらい長崎ココウォーク」フードコートのリニューアル計画。
Piazza(広場)をテーマに、階段席や窓際のテラス席、食のイベントが行えるキッチンエリア等多様な居場所を創出しました。



前原道路改修 /環境デザイン

福岡市が進めている、Fukuoka East & West Coast プロジェクト。西エリアを代表する北崎にて、歩道の美装化を行いました。自然環境や海辺の魅力を高める視点でデザインすることで地域の観光振興・活性化に寄与することを目指しました。



オーガニックショップ「ビオララ」 ワンフクオカビルディング店 企画・設計

イオン九州がワンフクオカビルディングB2Fに出店したオーガニック食物販店舗「ビオララ」。既存のブランドコンセプトやブランドカラーは引継ぎながら、天神という立地特性を考慮し上質でスタイリッシュな空間デザインで、ブランド価値の向上を図りました。





コミュニケーションデザイン 伝わる仕組みをつくる

見えない「なぜ」を根っこに、感じる「楽しい」を大事に。
対話を重ねながら持続可能なコミュニケーションをサポートします。

ダイスプロジェクト
活動紹介

ウェブサイトによる コミュニティづくり

ファンづくりをしながら業務へと結びつけるウェブサイトの構築を行っています。
コンセプトメイキングからコンテンツ制作・運営まで行っています。



食を軸とした観光 PR企画 (長崎県雲仙市)

長崎県雲仙市の食をきっかけに地域に興味を持ち足を運んでもらうことを目的に、1夜限定のポップアップレストランとマルシェを福岡にて開催。
現地の料理人による雲仙の温泉水や食材を使った料理、現地の生産者や温泉旅館店主、観光協会職員をゲストにしたトークショーなどで地域の魅力を伝えました。また、福岡以外の地域でもPR展開することを前提に、ネーミングやキービジュアル、ツール等の制作も行いました。



福岡市屋台 DX推進 LINE Fukuoka広報/CRサポート

福岡市とLINEヤフーコミュニケーションズがすすめる「屋台のDX化」の取り組みに参画。プロジェクトのネーミングをはじめ、取組のプロモーション関連の設計・コピーワーク、クリエイティブディレクションを行いました。
ローンチ1週間で友達登録者3000人増。
地下鉄広告掲出、プロモーション動画の制作も行いました。





イベントデザイン 新しい体験をつくる

まちなのにぎわいを生み出す仕掛けや、商品やサービスを発信するための企画から運営まで一貫してサポートします。

ダイスプロジェクト
活動紹介

アイランドシティ アーバンデザインセンター(UDCIC) 事務局

福岡市東区の人口島を対象とした公民学連携のまちづくり組織「UDCIC」の事務局を2018年度より継続して実施。地域の課題解決や魅力創出・発信を目的とした住民連携イベントやワークショップを企画運営中。

■企画 ■運営 ■実施 ■管理



江津湖リビング 企画・運営サポート

熊本地震からの復興応援をコンセプトに、市民の憩いの場である江津湖をステージにしたフェスを企画。現在も規模を拡大して毎年春と秋の2回実施中。

■企画 ■運営サポート



ハカタストリートバル 企画運営

博多駅前地区の活性化として、博多まちづくり協議会と福岡市が主体となり検討している駅前通りエリアの活性化を目的としたブランド戦略として周辺地権者と出店事業者に向けて実施する情報発信カフェを企画デザイン運営しました。

■企画 ■運営 ■実施 ■管理



ANABA PROJECT

都市・建築・空間・コミュニティ/ 場の再生と不動産事業

作らずに、創る。

無から作らず、有から創ること。

それを新しい可能性につなぐこと。

都市・建築・空間・コミュニティを事業視点で再生

大きな転換期を迎えている社会において「作らずに、創る」という思想から生まれた新たな価値を創造する事業。単なる企画や建築設計にとどまらず、新たな事業スキームの構築から、施設においては不動産事業としてリーシング、建物の管理・運営までトータルにプロデュースすることで暮らしを取り巻く様々な社会解決を目指した事業です。



〈実績〉

Lassic

中央区清川のエリアイメージを払拭し、新たなコミュニティを創造した、リノベーションプロジェクト。
2005年
旅館→商業施設



ふく萬坊

宿泊客が減少する呼子で旅館をオーベルジュホテルに再生新たな宿泊スタイルを創造。
2007年
旅館→オーベルジュホテル



福岡シェアホテル

シェアをコンセプトに、社宅を宿泊者同士が交流をはかれるシェア型ホテルに再生したことで高い稼働率を実現させたプロジェクト。
2010年 社宅→シェアホテル



GCH グラミン クリエイティブハウス

九州大学の移転により空きとなった歴史的建物を創造拠点としてリノベーションしたプロジェクト。
2011年
学校施設→研究センター



ニレノキハウス

古いアパート型賃貸住宅を入居者がセルフリノベーションできる新たな賃貸住宅の仕組みを創造。
2012年
住宅→セルフリノベ住宅



HAKATA RINOVAION CAFE

博多駅前エリアを天神と並ぶ賑わいエリアへ再生。地元や行政と連携したプロモーションを企画・運営。
2015年 コンビニ→まちづくりプロモーションスペース



セルフリノベーションコクブ

空室が目立つ古い賃貸住宅をセルフリノベ可能な賃貸住宅に。入居者以外も参加可能なイベントなど地域にひらく仕掛けも。
2015年
住宅→セルフリノベ住宅



ハカタストリートバル

国家戦略特区を活用して、はかた駅前通りの歩道を活用した期間限定イベントでにぎわいとまちの風景を創出する企画。
2017年～
歩道+公開空地 →期間限定にぎわい創出イベント



URA-TEN bld.

築年数45年のビルを改修。“路地うらリノベーション”をコンセプトに、人が集まるテナントビルへとリニューアル。
2025年
住居→テナントビル



...他多数

アナバナ

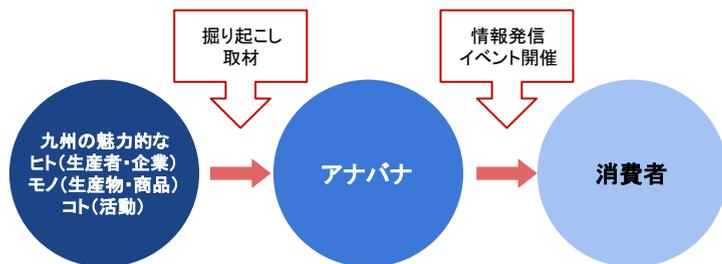
九州のワクワクを掘り起こす活動型webマガジン

「目線を変えると見える価値」をテーマに、九州の魅力を掘りおこしています。九州に暮らす人の営みと生業。それを生み出す”しごと”が元気になってくれることが、九州をもっと魅力的に、元気にするのだと思います。そのために、ウェブサイトでの発信、生の体験や学ぶことのできる場づくり、そしてイベントの開催などを定期的におこない、九州の”しごと”を応援します。

B.九州のワクワクを掘り起こす活動型ウェブマガジン「アナバナ」

「人」、「場所」、「モノ」の切り口で、九州の「いいしごと」を掘り起こし紹介するウェブマガジンです。

取材記事の制作や様々なイベントを通じて、九州各地の生産者や料理家、また地方の観光協会などのネットワークを築き、九州の「しごと」と消費の新しい循環を作り出しています。



- ウェブマガジンの企画・取材・運営
- イベントの企画・実施・運営
- 生産者・料理家・消費者との、ネットワーク構築
- 商品開発・販売

- アナバナ会員数約7,200名(2025年4月時点)
- SNSフォロワー数(2025年4月時点)
Facebook 約8,600名 / Instagram 約1,100名

<http://anaba-na.com>

コンテンツ

●POP UPレストラン

毎回異なる食材に焦点を当て、1日限定のPOP UPレストランを不定期に開催。生産者や料理人のストーリーにも触れ、食を通した九州の魅力を掘り起こしています。



●軒下マルシェ

九州を中心に、魅力的な生産者の商品を購入できるマルシェを不定期開催。生産者の思いやモノづくりの背景などを直接聞きながら、九州の食の魅力を再発見する場。



●皿の上の九州

「九州のおいしい食、うれしい道具」を集め、出品者である生産者と目利きのプロであるバイヤーが真剣に向き合う見本市。2016年より5回開催。



そのほか、九州内外のゲストを迎え語り合うトークイベント「コトバナ」、地域の人とその人の目線で旅をする「二人で旅すゆるリズム」編集部が出会った九州のおみやげを紹介する「九州みやげ365」などを通して九州の魅力を掘り起こしてきました。

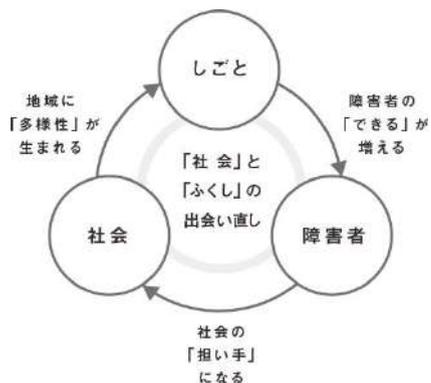
ふくしごと

障がいのある人と社会との心地よい循環をつくる

九州内で、障害のある人たちの就労を支援する福祉事業所は、約2,900カ所あり、そのほとんどの福祉事業所では、食品や生活用品、雑貨などを制作・販売しています。

その商品と物語を発信して、障害のある人たちの賃金を増やしていくことはもちろんのこと、障害のある人たちと社会との心地よい循環をつくっていきたいと考えています。

福祉施設と社会のズレやギャップをなくし、両者のあいだに心地よい循環をつくることを目的とした共同出資の新事業。
価値あるものを価値ある価格で流通させる会社です。



株式会社ふくしごとは、2社3人の連携会社です

- 橋爪大輔(株式会社ダイスプロジェクト)81.1%
- 樋口龍二(特定非営利法人 まる)13.5%
- 先崎哲進(テツシンデザインオフィス)2.7%
- 焼山慈康(株式会社ブリックハウス)2.7%
- 山内 泰(NPO法人 ドネルモ)

事業内容

企業と障害福祉の柔軟な関わり方を提案する2つのミッションに基づく6つの事業を中心に行なっています。

MISSION 1

障害者福祉の リソースを 社会に提供する



販売する

障害福祉施設の
商品開発・製造・販売

市場のニーズに基づき、施設の商品とともに開発し、製造をサポートします。さらに販売ルートの提案を行います。



デザインする

障害者のアートを使ったデザイン・絵の使用権販売

障害者の描くイラストを使って商品や広告、ノベルティ等を制作します。壁面等への大型ライブペインティングも可能です。



学ぶ

障害者施設と連携した
企業の人材育成

ダイバーシティ社会での活躍を目指す企業に、施設を活用した人材育成プログラムを準備しています。企業等へ出向いての講演も可能です。

MISSION 2

障害者の 働く環境を よくする



コンサルする

障害福祉施設の調査・コンサル
ティング

施設や障害者についての実態調査を行います。施設のコンサルティングから、経営計画や商品販売計画を見直し、経営の改善に取り組みています。



設計する

障害福祉施設の設計デザイン

障害福祉施設の拡張・改修のための設計デザインを行います。障害者ならではのニーズを熟知し、安全で地域に開かれた施設を提案します。



発信する

障害福祉施設の情報発信

障害者を取り巻く環境をよりよくするための情報発信や施設のブランディング・コミュニケーションをデザインします。

会社概要

会 社 名 :株式会社ダイスプロジェクト

代表取締役 :橋爪 大輔

所 在 地 :812-0044

福岡県福岡市博多区千代1-20-14

設 立 :平成15年6月12日

資 本 金 :20,000,000円

営 業 所 :熊本県熊本市中央区九品寺2丁目4番1-1407

登 録 :

一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-11760号

宅地建物取引業 福岡県知事(3)17476号

建設業許可 福岡県知事許可(般—29)第111414号